

議会だより

令和8年度6月会議

6月会議提出議案	2
議案の審議	3～5
一般質問	6～9
「3人の議員が町政への質問」	
議会topics	10～15
議会だよりギャラリー	16

下郷

SHIMOGO

下郷町

2026年8月

目次



第116号

SLの特別運行

6月27日(土)・28日(日)

ふくしまデスティネーションキャンペーンに合わせて栃木県下今市駅と会津若松駅を結ぶSLの特別運行があり、会津線を52年ぶりに運行、沿線には県内外から多くの人々が駆けつけました。(写真撮影 会津下郷駅 6月27日)

令和8年度 6月会議

6月会議は6月8日から12日までの5日間の会期で開かれた。

今会議では専決処分の報告が8件あり、提出議案では条例改正1件、購入契約1件、町道の路線認定1件、補正予算3件が審議され、全て可決された。

【報告】

報告第1号	下郷町税条例の一部を改正する条例の設定について
報告第2号	下郷町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の設定について
報告第3号	下郷町地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部を改正する条例の設定について
報告第4号	福島県特定事業活動振興計画に基づく固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の設定について
報告第5号	令和7年度下郷町一般会計補正予算（第9号）
報告第6号	令和7年度下郷町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）
報告第7号	令和7年度下郷町一般会計の繰越明許費について
報告第8号	令和7年度下郷町簡易水道事業会計予算繰越計算書について

【議案】

○条例

議案第1号 下郷町簡易給水施設設置条例の一部を改正する条例の設定について

○購入契約

議案第2号 G I G Aスクール端末の購入契約について

○認定

議案第3号 町道（姫川南原線）の路線認定について

○補正予算

議案第4号 令和8年度下郷町一般会計補正予算（第1号）

議案第5号 令和8年度下郷町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

議案第6号 令和8年度下郷町介護保険特別会計補正予算（第1号）

議

案



審

議

小中学校統合に向けた下郷中学校の耐力度調査委託料688万円、GIGAスクール端末Chromebook264台（1,452万円）の購入契約、令和8年度一般会計・国保・介護保険の補正予算、町道姫川南原線の路線認定など全議案を審議し、いずれも原案通り可決した。

①高度なバリアフリー工事・長期優良住宅の定義について（報告第1号補足答弁）

Q 高度なバリアフリー工事と長期優良住宅の中身について伺う。（星邦一議員）

A 高度なバリアフリー工事

手すり設置・段差解消にとどまらず、高齢者や障害者が自立して安全に生活できるよう、住宅全体の機能を向上させる比較規模の大きな工事

●長期優良住宅

建築基準法等に定められた劣化対策・耐震性・省エネルギー性などの一定基準をクリアした住宅（ハウスメーカーの商品で明記されているものがある）

●耐震改修の特例

現行の耐震基準に適合す

る工事、一定額以上の工事費、改修後に建築士の証明を受けているものなどが該当（税務課長）

②再生可能エネルギー発電設備に係る減額措置について

Q 長期譲渡所得の適用について、短期譲渡は対象にならないのか。（渡部哲議員）

A 所有期間が5年を超える土地を売却した場合に適用になるもので、長期譲渡に該当する。短期譲渡は該当しない。（税務課長）

*短期譲渡所得…売却年の1月1日時点で所有期間が5年以下
*長期譲渡所得…売却年の1月1日時点で所有期間が5年超

不動産の売却における短

期譲渡と長期譲渡は、売却した年の1月1日時点での所有期間が5年以下か5年超かで区分され、税率が約2倍異なる。（短期譲渡の税率39・63%、長期譲渡の税率20・315%）



③職員退職等による減額補正について（報告第5号・第6号専決処分報告）

Q 職員の給与関係（総務費・教育費）が減額されている理由は？（星和志議員）

A 退職等による減額。道路改良費の減額と同様、退職に伴う人件費の整理によるもの。(総務課長)

4鳥獣被害対策・農業再生協議会補助金の減額について(報告第5号専決処分報告)

Q 農業振興費の鳥獣被害対策協議会補助金・農業再生協議会補助金が減額されているが、事業を減らしたということか？(星邦一議員)

A 協議会自体の事業や予算を減らしたわけではない。当初予算で確保していた補助金のうち、一年間の申請・交付を経て最終的に残額となった分を減額したもの。(農林課長)

5子ども子育て支援交付金の減額について(報告第5号専決処分報告)

Q 民生費の国庫補助金および県補助金(子ども子育て支援交付金)が減額になった理由を伺う。(山名田久美子議員)

A 令和8年度の人事異動に伴う人件費の減額により、国と県の補助金が減額となったため。(健康福祉課長)

6GIGAスクール構想端末の購入契約について(議案第2号GIGAスクール端末購入契約)

Q 機種選定の理由、264台の算定根拠、随意契約の理由、維持管理費の扱いについて伺う。(星和志議員)

A 機種選定・随意契約の理由
福島県の共同調達(県内

Q 機種選定の理由、264台の算定根拠、随意契約の理由、維持管理費の扱いについて伺う。(星和志議員)

案第2号GIGAスクール端末購入契約)

Q 機種選定の理由、264台の算定根拠、随意契約の理由、維持管理費の扱いについて伺う。(星和志議員)

A 機種選定・随意契約の理由
福島県の共同調達(県内

Q 機種選定の理由、264台の算定根拠、随意契約の理由、維持管理費の扱いについて伺う。(星和志議員)

7町道の路線認定(姫川南原線)について(議案第3号町道路線認定)

Q 道路用地の境界杭が打ってある部分の利

Q 道路用地の境界杭が打ってある部分の利

Q 道路用地の境界杭が打ってある部分の利

Q 道路用地の境界杭が打ってある部分の利

Q 道路用地の境界杭が打ってある部分の利

Q 道路用地の境界杭が打ってある部分の利

緑色シート…防草シートと考えられるが、詳細な用途については現場を確認して後ほど報告する。(建設課長)

8下郷中学校の耐力度調査について(議案第4号令和8年度一般会計補正予算第1号)

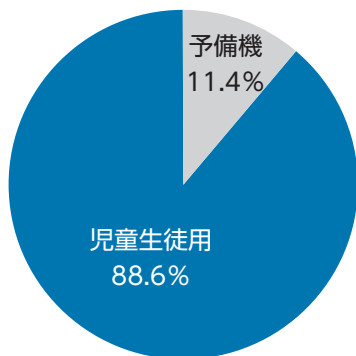
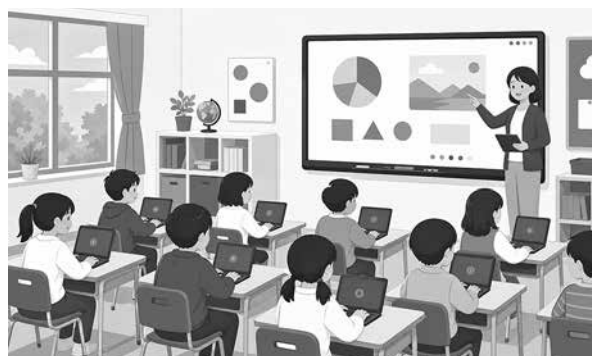
Q 「耐力度調査等業務委託料(688万4千円)」の調査目的・項目・今後のスケジュールについて伺う。また、学校あり方検討委員会の開催予定は？(星邦一議員、猪股謙喜議員)

Q 「耐力度調査等業務委託料(688万4千円)」の調査目的・項目・今後のスケジュールについて伺う。また、学校あり方検討委員会の開催予定は？(星邦一議員、猪股謙喜議員)

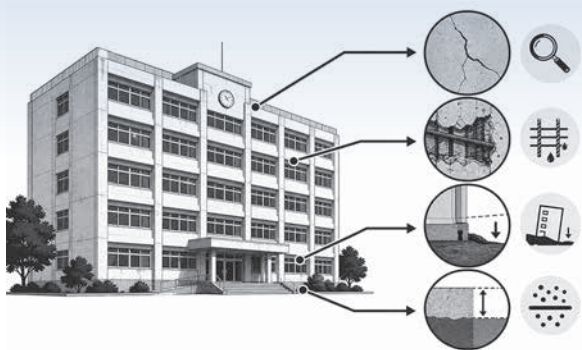
Q 「耐力度調査等業務委託料(688万4千円)」の調査目的・項目・今後のスケジュールについて伺う。また、学校あり方検討委員会の開催予定は？(星邦一議員、猪股謙喜議員)

Q 「耐力度調査等業務委託料(688万4千円)」の調査目的・項目・今後のスケジュールについて伺う。また、学校あり方検討委員会の開催予定は？(星邦一議員、猪股謙喜議員)

Q 「耐力度調査等業務委託料(688万4千円)」の調査目的・項目・今後のスケジュールについて伺う。また、学校あり方検討委員会の開催予定は？(星邦一議員、猪股謙喜議員)



GIGAスクール
端末購入内訳
(264台)



●鉄筋のかぶり厚さ

鉄筋を保護するコンクリート厚

●躯体の状態

クラック（ひび割れ）の有無

●浮動沈下量

基礎地盤の異常の有無

【調査目的】

小中学校を統合し義務教育学校へ再編するにあたり、築53年（昭和47・48年

建設）の下郷中学校の安全性・健全性を客観的に把握し、将来の学校整備の判断材料とするため。

【スケジュール】

議決後速やかに発注し、年度内に調査結果をまとめ、学校のあり方検討委員会（7月開催予定）で報告・検討していく予定。（教育次長）

●購入金額

・一式
150万1,500円

●経過年数

約13年

●修繕理由

発熱等による稼働不安定

●修繕内容

ハードディスク部品交換・システム再セットアップ

●修繕費

30万6千円
（健康福祉課長）

●9地域包括支援センターのパソコン端末修繕について

（議案第4号令和8年度一般会計補正予算第1号）

Q

端末の購入時期・当時の金額、修繕の理由を伺う。（猪股謙喜議員）

A

●購入時期

平成25年（2013年）6月

・補正後…56名

●一般職員（特別職三役含む）

・当初予算…84名
・補正後…84名（変更なし）

●予算総額

・当初予算
変更なし（ベースアップ等なし）

・補正後

生活環境変化による微増減のみ（総務課長）

●11陳情書の一部訂正手続きについて

（追加日程陳情第1号一部訂正）

Q

提出者が新たに陳情書を出し直すのが筋ではないか？（山名田久美子議員）

A

経緯は以下のとおり。
●令和8年5月13日
陳情者が陳情書を作成

●5月21日

議会が受付

●6月1日

提出者より「訂正が必要」と連絡

●6月4日

議会運営委員会（事務局が訂正を失念したまま配布）

●6月8日

本会議で訂正前の陳情書を委員会付託

●6月12日

最終日本会議にて正式に訂正手続き山路を登り

本会議で正式に委員会付託された後であったため、議長会へ相談のうえ、最終日の本会議において訂正の手続きをとりました。事務局のミスによるものであり、大変申し訳ございませんでした。
（議会事務局長）

一般質問



6月会議では、3人の議員が6件の一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

7ページより、質問した順に代表する質問の一般質問を要約してお知らせします。

星 和志

- ふるさと納税の現状と観光・農業資源を活かした今後の運用について
- 雇用促進住宅計画地の放置と今後の活用対策について

P 7

山名田 久美子

- 公共施設への防犯カメラの設置について
- 通学費の助成について

P 8

星 邦一

- 未来ある生徒への投資による人口対策
- 大松川地区のほ場整備事業について

P 9



“一般質問”は、議員が町の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針等を聞き、町長などに所信や疑問をたずねることで、報告や説明を求めることです。



スマートフォンで右のQRコードを読み込むと今までの会議録を読む事ができます





星 和志 議員

kazushi hoshi

質問 ふるさと納税の現状と観光・農業資源を活かした今後の運用について

答弁 返礼品充実と事業者連携により、受け入れ額の段階的な増加を推進

観光客80万人が訪れるにもかかわらず、ふるさと納税受け入れ額が県内44位と低迷している現状について、返礼品充実と事業者連携による改善を求めた。

問

ふるさと納税の現状と観光農業資源を生かした今後の運用について、なぜ下郷町の受入額が低迷しているのか、その原因と改善策は何か。

答

返礼品数が少ないことが主な要因である。毎年度広報等による返礼品提供事業者の募集や職員による直接訪問交渉を行っているが、提供事業者の応募が少ないのが現状だと答弁した。また、令和5年度から電子クーポンを返礼品とする現地決済型ふるさと納税を開始したが、現金決済のみの店舗があり寄付が伸び悩んでいる。

問

現地でのPR、体験型返礼品の充実、目標数値の設定について具体的な計画は。

答

電子クーポンについては対応施設を増やすことが重要であり、体験型返礼品についてはガルテンなどを利用した体験から始めることを提案した。目標数値については、相手がいることなので決められないとし、令和7年度の1300万円以上を目指す。

問

金子牧場のヨーグルトの現状と生産量について。

答

金子牧場について企画の見直しやチーズの素晴らしさの研究が必要であり、助成金を使った支援や新商品開発の重要性を述べた。また、牛肉の提供可能性についても金子さんと話し合ったことがある。

問

米の定期便サブスクリプション返礼品の戦略的売り込みについて。

答

湯川村が米で約1億から2億円の返礼品実績

があることを例に挙げ、農協とのタイアップの重要性を強調した。定期便については、

質問

雇用促進住宅計画地の放置と今後の活用対策について

答弁

消防署改築、学校統合など複数の起債計画がある中、土地活用の基盤整備は課題

人口減少で時代にそぐわなくなった雇用促進住宅計画地について、子育て支援や福祉拠点への転換を提案。

問

雇用促進住宅計画は現在の町の実態に合っているか。

答

現在の就労状況や雇用の場の現状から鑑みると、この事業制度にはそぐわないと考えている。また、国の行政改革に伴い雇用促進住宅整備事業は廃止されており、今後は定住促進住宅整備や宅地分譲整備が考えられる。自然転圧期間を過ぎた土地の現状と安全性管理について。

問

精米して何回かに分けて送るシステムを農協や郵便局と連携して進めたい。

答

軟弱な地盤であったため養成期間が長いほど地盤の安定性が向上すると説明し、定期的な除草と現場の安全確認を行っており、特段の地盤劣化や周辺環境への影響は確認していない。

問

土地の有効活用における補助金返還リスクのクリア方法について。

答

補助事業で行う以外にないが、現在町では消防署改築、環境衛生施設、会津鉄道、統合中学校など多くの起債が予定されており、財政的に厳しい状況である。まずは道路、水道、排水のインフラ整備を行い、いつでも対応できる状態にする。



山名田 久美子 議員

kumiko yamana

質問 公共施設への防犯カメラの設置について

答弁 会津鉄道と協議し設置の方向で検討

問

近年様々な犯罪により命を奪われたり、けがを負わされたりするケースが増加。そこで防犯カメラが証拠となり捜査に役立つとともに、犯罪防止の抑止力にもつながる。

観光の町として、公共施設や観光施設への防犯カメラの設置は必要と考える。現在町の公共施設、観光施設への防犯カメラの設置状況はどのようになっているか伺う。

答

防犯カメラの設置状況については

・下郷中 2台
・江川小 3台
・旭田小 2台
・榎原小 2台
・町並み展示館屋内 2台
・下郷町物産館屋内 2台
・養鱒公園屋外 2台
・道の駅屋内 6台
・野外 2台

問

平成28年6月、議員として初めて一般質問で取り上げた件である。その当

時は、江川小に1台の設置だけであった。

10年前になぜ質問したかという、湯野上温泉駅に併設されている足湯に放火された自転車車が投げ込まれた事件が発生、隣にはかやぶき屋根の駅舎、民家があるなど危険である。ライブカメラの設置はあるが、録画機能はない。会津鉄道も関係してくる案件ではあるが、相談しながら進めていただきたい。

答

観光客の入込も多くなつて来ているので、会津鉄道と協議しながら設置の方向で考えていきたい。



質問

通学費の助成について

答弁 条例を変える考えはない

問 町では今年度から高校生の通学費助成を開始した。高校へ通う生徒の保護者にとっては、喜びの声が聞かれる。

そのような中で、会津若松市の公立・私立の中学校に通う児童が何人かいる。中学校は義務教育であり、町外へ通うということは制度としても認められている。町も入学祝い金を支給しているのであれば、大きな心をもって高校生同様、中学生への助成をすべきと考えるが町長の考えを伺う。

答

町としては、高校生と中学生では置かれている環境が根本的に異なるという認識である。町内には高校が1校もなく、高校進学を希望する生徒は町外へ進学するという地理的な制約がある。中学生は町内に学びの場がある中で、ご家庭の教育方針等

により町外の学校を選択されている。高校生の通学事情とは性質が異なるものと捉えている。また、条例に基づいて補助している。町として地元の学校に出してほしいというのが本音である。

問

答

この条例を変える気持ちはないのか伺う。
今のところ条例を変える考えはない。





星 邦一 議員

kuniichi hoshi

質問 未来ある生徒への投資による人口対策

答弁 現場からの声を聞き、 色々工夫してやっていく

問

人口問題は全国的に減少していることから、この下郷町に住んでいただくためにはより特徴ある奇抜な施策が必要であり、若い世代、子育て世代、子どもの人口を増やしていくことが不可欠である。そこで、下郷中学校の生徒会役員に町費で夏休みや冬休みの期間を利用し海外研修の場を与えてはどうか。未来ある子どもたちに世界を学ぶ環境を与えることができ、また、町外や県外から注目が集まることにより下郷町への移住に繋がる可能性もあると考え提案するが町長の考えを伺う。

答

現在の下郷中学校の生徒は、外国語指導助手の指導やブリティッシュヒルズで体験型滞在研修を毎年全学年で実施しており、今後はオンライン交流なども含めた様々な手法を用いてより良い学習機会の確保に努め、国際教育を推進したいと考えているが、海外研修については世界情勢の大きな変化や感染

症、渡航費用等、特に安全確保の面で慎重な対応が求められると考えているのでご理解願いたい。

問

治安のいいところで本場の外国を見せることはとても反響があると思われる、町外の中学校へ行かず下郷で一生懸命勉強して生徒会役員になり、研修にいつてみようかと考えるかと思う。そういう意味で提案した。今は若い世代は会津若松とか白河、西郷に行った方がいいんじゃないかという話を聞くので、本気で考えてみてはどうか。

答

義務教育の中での海外研修はどうかと考える。出生率が過去最低になつており、未来ある子どもたちに投資をし奇抜な施策をやつていかないと、若い人は下郷町に残らないと思われる。海外研修が難しいのであれば有名な大学などの講義を見せるとか、そういった学ばせる機会を与えた方がよい

問

とされるかどうか。色々工夫して考えていくことが必要だと思う

答

とされるかどうか。色々工夫して考えていくことが必要だと思う

質問

大松川地区のほ場整備事業について

答弁

早急に採択できるように

問

大松川地区のほ場整備事業については、3月の一般質問で今年は必ず申請すると答弁され、地区住民の士気が下がってきていることの指摘には、町長自らが地区へ出向き話し合いをされるとのことだったが、間違いなく申請はされるのかどうか。また、地区住民の士気は以前のように取り戻されたのかどうか伺う。また、大松川では、ほ場整備を見越して町の指導支援のもとで農業法人を設立しており、ほ場整備事業申請の際の営農計画にも重要な位置付けになっていると思われるが、この農業法人に関わる方々の士気も下がり、その取り組みも年々減少しているが、ほ場整備が完成すればこ

答

ので、教育課程の中に入り込まれるように現場の方に声をかけてみたいと思う。

支援を進めていく

は、今年6月6日に申請を出すべく手続きをしているところであり、これにより農政局ヒアリングが行われるため、採択に向けて力を入れていきたいと考えている。

農業法人については、農林事務所をはじめ関係機関と協力を得ながら課題解決及び運営にかかる情報提供を行い、安定した事業を継続できるように支援を進めていきたいと考えている。

第77回 南会津地方議会議員大会

令和8年7月3日(金)南会津地方の町村議会議員が一堂に会し、郡内議員大会が国会議員県議会議員ほか多数の来賓が出席され、只見町の「季の郷 湯ら里」で開催されました。

大会では、各町村が抱える課題に対する要望が提案され、すべての要望が可決となり、可決された要望は、今後郡の議長会を通じて県や国などの関係機関へ提出されます。

○高規格道路「会津縦貫南道路」の整備促進について

「会津縦貫南道路」は地域整備の骨格として重要な路線であり、国道121号の自然災害リスクや観光地大内宿の渋滞問題、救急医療施設へのアクセス改善が課題であり、1年を通じた交通の利便性、安全性の確保が重要な課題となっている。



下郷町議会提出 提案理由説明者
大竹 浩治 議員

1. 国直轄権限代行で整備中の第4工区の湯野上バイパス8.3kmについて早期完成を。
2. 第5工区下郷田島バイパス11.1kmについて更なる事業促進を図ること。

○第三セクター会津鉄道・野岩鉄道並びに生活バス路線への支援措置について

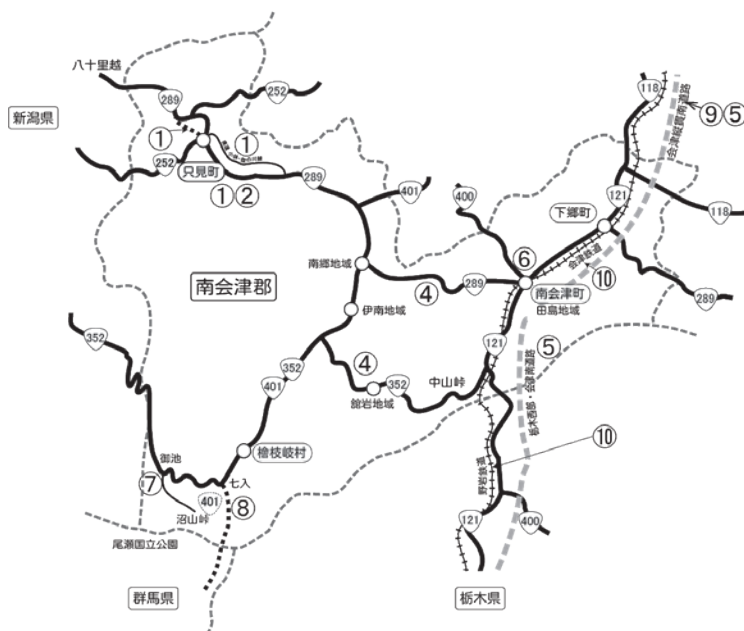
会津鉄道・野岩鉄道等の第三セクター鉄道と生活バス路線は、地域の基幹的公共交通機関として住民の生活に不可欠である。しかし少子化・人口減に伴い、輸送人員の増が難しく、多額の累積赤字を抱え、経営が極めて厳しい状況にあるため、県とともに会津17市町村が一丸となって経営安定化のため支援を行っている。

また、路線バスについては高齢者・児童生徒・障がい者など自ら交通手段を持たない交通弱者にとって欠かすことのできない地域交通ネットワークであり、厳しい財政事情の中で、町が業者に委託することで、その運行を維持しているところである。

地域住民の生活にとって必要不可欠な公共交通機関の確保のため、国、県による継続した支援措置が必要であり、次の事項について強く要望いたします。

1. 第三セクター鉄道の厳しい経営状況に鑑み、県においては、現在の支援制度を堅持すること。また国においては、経営安定化のため新たな支援制度を創設するとともに、第三セクター鉄道に対し、地方公共団体が助成や出資を行った場合は、地方交付税措置の優遇策を講じること。
2. 第三セクター鉄道の大規模災害等にかかる国の財政支援措置を拡充すること。
3. 第三セクター鉄道の安全輸送を確保するための設備や老朽化施設の更新にあたり、国の財政支援措置を拡充すること。
4. 生活バス路線について、地方自治体が地域住民の生活に必要な公共交通手段を維持できるよう、国において十分な財源措置を講じること。

要望箇所 位置図



1	一般国道289号「八十里越」区間の開通に向けた周辺道路の整備促進と一般国道252号新橋梁早期整備について
2	へき地診療所の常勤医師の確保について
3	鳥獣被害対策に係る支援について
4	一般国道352号（穴原～耻風間）の改良促進について
5	「栃木西部・会津南道路」と「会津縦貫南道路」の一体的な整備促進について
6	中山間地域における医療の充実と県立南会津病院の常勤医師確保について
7	裏燧林道並びに燧ヶ岳登山道の整備の充実について
8	一般国道401号の改良整備事業の促進について
9	高規格道路「会津縦貫南道路」の整備促進について
10	第三セクター会津鉄道・野岩鉄道並びに生活バス路線への支援措置について

7/21

令和8年度 県道高隲田島線 改良促進期成同盟会総会

7月21日(火)南会津町役場にて県道高隲田島線改良促進期成同盟会総会開催。
役員改選があり、今年度から星 學町長が会長に選任され、落合地区内2ヶ所
現地調査実施 ①県道高隲田島線拡幅工事（落合地区内）

②下郷田島バイパス落合IC付近の工事状況

南会津建設事務所から工事状況の説明を受けました。

今後は早期完成に向け、南会津建設事務所、県、県土木への要望活動を実施します。



会場：南会津町役場



現地調査：②下郷田島バイパス落合IC付近

研修の3大ポイント

① 広報マインド

- ・「誰に・何を・どう伝えてどうなってもらうか」を常に意識して設計する
- ・読者の関心・知識レベルに合わせた伝え方が大切

② 読みやすい紙面

- ・余白・大きな見出し・写真で詰め込みを避ける
- ・視認性・可読性・判読性を高める
- ・18文字以内の見出しで読者の目を引きつける

③ 著作権の遵守

- ・住民の写真・発言には著作権・利用許諾を書面で取得する
- ・同一性保持権にも配慮する
- ・著作者の意図を尊重した適切な利用が信頼を生む

企画 (Plan) と編集 (Do) のフロー

議会報の品質向上

■ 企画 (Plan)

○ 広報マインド

- ・誰に、何を、どのように伝えてどうなってもらいたいのか
- ・説明責任を果たす
 - ① 議会の制度・仕組みを知ってもらう
 - ② 議会の活動を理解・納得してもらう

○ 誰に

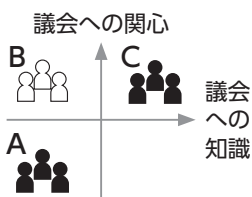
- ・関心を知識 (ABCに区分)

○ 何を、どのように伝えて

- ・議会報のテーマ
- ・要素、構成、表現

○ どうなってもらいたいのか

- ・グループ A：議会活動に認知・関心をもってもらおう
- ・グループ B：議会活動を理解・納得してもらう、ポジティブ評価
- ・グループ ABC：傍聴、議会報告会に参加、議会に声を届けてもらう



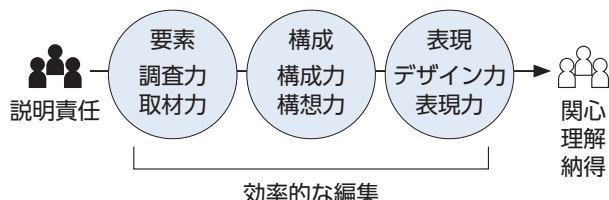
■ 編集 (Do)

○ 何を、どのように伝えるのか

- ・目的を実現するため
- ・どんな要素、どのように構成し、どう表現するか

○ いかに効率的に作成するか

- ・「練り上げる」は理想であるが…／限られた時間、リソース
- ・フォーマットをつくる／フォーマットに合わせる
- ・レイアウト、フォント種類・サイズ、行間、装飾など



研修を受けて—これからの取り組み

① 読者ファーストの紙面へ

- ・見出しは18文字以内
- ・余白と行間を十分に確保
- ・写真・グラフを大きく使う
- ・他自治体の入賞議会報を参考に紙面を改善する

② 編集会議でPDCAを回す

- ・毎号「誰に・どうなってもらうか」を全委員で共有して企画
- ・発行後に評価→改善を繰り返す
- ・先進事例を積極的に研究し自町の紙面改善に活かす

③ 著作権ルールをマニュアル化

- ・住民写真・発言の利用許諾を書面で取得するフローを整備
- ・同一性保持権への配慮も徹底

「読まれ、伝わり、行動を促す」議会報を目指して

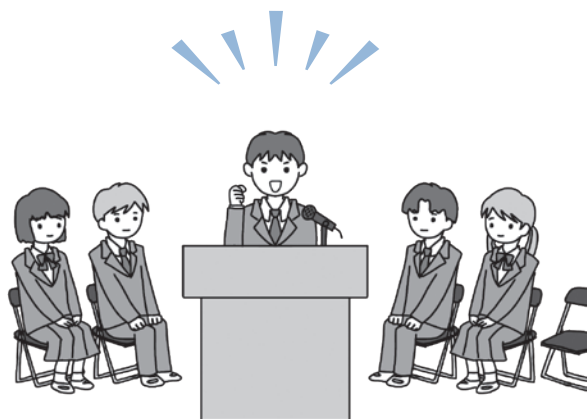
広報委員会一同、町民の声に耳を傾けながら、より良い紙面づくりに邁進します。





第42回青少年の主張発表 — 青少年健全育成作品コンクール表彰式

日時：令和8年7月10日(金) 午後1時30分～ 会場：下郷ふれあいセンター ホール



青少年は、地域社会においてかけがえのない、次代の豊かな社会を築く一員です。将来に夢や目標を抱き、のびのびと健やかに成長することは地域全体の願いです。

「地域の子どもは地域で育てる」の理念のもと、家庭・学校・地域が連携し、青少年が日頃考えていることや願いを発表する場として本会を開催します。あわせて標語・ポスターコンクール入賞作品を展示・表彰し、健全育成の機運を高めます。

プログラム

- | | | | |
|------------|----------|----------|----------------|
| 1. 開会の言葉 | | 5. 主張発表 | 小学生6名・中学生3名 |
| 2. 主催者あいさつ | 湯田 嘉朗 会長 | 6. 表彰 | コンクール入賞者・発表者 |
| 3. 祝辞 | 星 學 町長 | 7. 講評 | 旭田小学校 有馬 光一 校長 |
| | 湯田 健二 議長 | 8. 閉会の言葉 | |
| 4. 来賓紹介 | | | |

主張発表者

小学生の部

星 潤那	江川小 5年	ポイ捨てを減らしたい
渡部 創志	榑原小 5年	ぼくが自分のために学校へ行く理由
児山 奏心	旭田小 5年	家族との大切な時間
山田 真心	江川小 6年	平和な世界にするために
池田 来愛	榑原小 6年	「こわい」の先にある命のつながり
玉川 麻絢	旭田小 6年	たった五文字の魔法の言葉

中学生の部

佐藤 暖人	下郷中 1年	クマ問題は天災によるものなのか
佐藤 奏恵	下郷中 2年	食品ロスについて私が思うこと
渡部明優花	下郷中 3年	地域を元気にするために

【主催】下郷町青少年育成町民会議 【共催】下郷町・下郷町教育委員会
【後援】小中学校長会・PTA連絡協議会・老人クラブ連合会



広域道路の効果説明 南会津でまちづくり・地域づくり講演会

会場：御蔵入交流館



7月14日 南会津町 御蔵入交流館で南会津地方町村会の主催で道路整備を通した、まちづくりや地域づくりを考えると題し、矢澤敏幸県土木部長が現在整備中の会津縦貫南道路や国道289号八十里越区間の現状を説明、広域道路が観光面などに利点があることや、自然災害に対するための重要性、橋りょうの老朽化などの課題について講演した。

南会津郡内から町村長、各議会議員、行政職員、建設業従事者、一般の方など約330名が参加した。



学校のあり方検討委員会

町内4小中学校統廃合（義務教育学校）までの計画案では、

令和8年度6月 校舎設計委託

7月 統廃合部会の発足

9月 統廃合部会会議 の予定でした。

しかし、設計委託前に下郷中学校の耐力度調査が必要となり、今6月会議に補正予算が提出され可決されました。（P4・P5議案審議参照）

耐力度調査は入札後3ヶ月以内に完了し、実施設計に移ることになります。

その後学校の在り方検討委員会が開催される予定となりました。

令和10年度閉校式・令和11年度開校式が予定通りには進まない状況になっています。

岩手県大槌町林野火災緊急消防援助隊活動状況について

南会津地方広域市町村圏組合消防本部

- 1 発生日時等 (1)発生日時 調査中
(2)覚知日時 【小槌地区】 令和8年4月22日(水) 13時53分
【吉里吉里地区】 令和8年4月22日(水) 16時28分
(3)鎮圧日時 【小槌、吉里吉里】 令和8年5月2日(土) 13時00分
- 2 出火場所 【小槌地区】 岩手県上閉伊郡大槌町小槌
【吉里吉里地区】 岩手県上閉伊郡吉里吉里
- 3 被害状況 (令和8年5月3日現在)
(1)林 野 【小槌地区】 約446ヘクタール(令和8年5月3日時点現在精査中)
【吉里吉里地区】 約1,187ヘクタール(令和8年5月3日時点現在精査中)
(2)人 的 軽傷2名
(3)建物等 【小槌地区】 7棟(住家1棟、非住家6棟) 【吉里吉里地区】 1棟(非住家)
- 4 出火原因 調査中
- 5 避難指示状況 1,558世帯 3,257名(令和8年4月30日全地区避難指示解除)
- 6 出場状況等 (1)福島県大隊派遣期間
第1次隊: 令和8年4月24日(金)～同年4月27日(月)
第2次隊: 令和8年4月27日(月)～同年4月30日(木)
第3次隊: 令和8年4月30日(木)～同年5月2日(土)

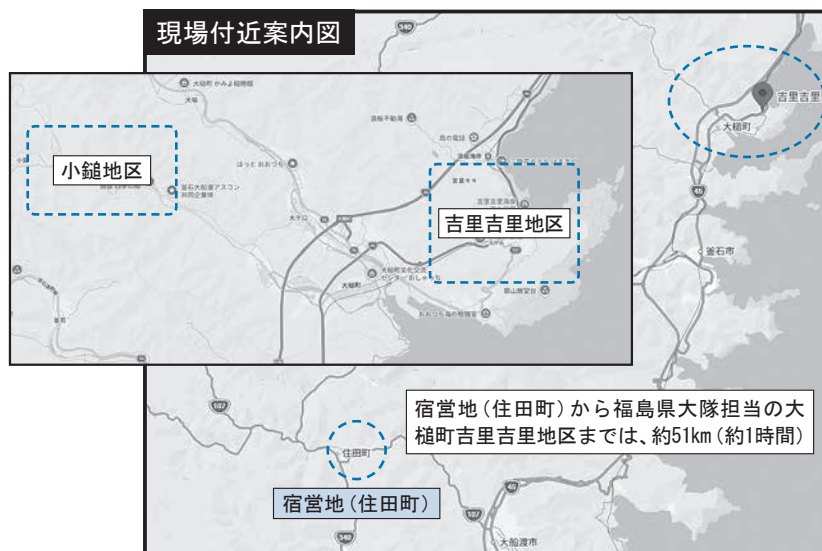
福島県大隊	第1次隊	第2次隊	第3次隊	合 計
出場隊数	36隊	34隊	34隊	104隊
出場人員	123名	115名	115名	353名

南会津消防本部	第1次隊	第2次隊	第3次隊	合 計
出場隊数	3 隊	3 隊	3 隊	9 隊
出場人員	8 名	7 名	7 名	22名

* 出場隊: 南会津消防本部(下郷タンク車) 後方支援隊(資機材搬送車)
特殊装備小隊(小型救助車、下郷広報車)

(2)福島県大隊宿营地 岩手県気仙郡住田町「住田町生涯スポーツセンター」

7 活動状況等	月 日	現地の状況等	第1次隊	第2次隊	第3次隊
	4月24日		14時43分 出場		
	4月25日				
	4月26日				
	4月27日	小雨	19時24分 帰署	5時00分 出発	
	4月28日	雨			
	4月29日				
	4月30日			1時05分 帰署	10時00分 出発
	5月1日	午後から大雨			
	5月2日	13時00分 鎮圧報			23時30分 帰署



議会だより ギャラリー

議会とまちのうごきを
写真でレポート

「第35回世代間交流事業 パークゴルフ大会」 6月13日(土)

大川ふるさと公園パークゴルフ場において、青少年健全育成世代間交流事業・パークゴルフ大会が開催され、小学生から92歳の高齢者まで46名が参加し、世代を越えて交流しました。



次回9月会議は9月第2週目の予定です。※日程が変更になる場合がありますので議会事務局へお問い合わせ下さい。

編集後記

夏が本気を出しました。猛暑の毎日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。

7月は、4年に1度のサッカーワールドカップが開催され、日本選手の応援に力が入ったのではないのでしょうか。また6月末の土日には52年ぶりにSLが会津線进行、表紙に掲載してみました。とにかく沿道には大勢の人で、大変な賑わいでした。運行の前には国道、県道、町道は多くの車が行き交い、こんなにもと……昔懐かしいSL人気の凄さには驚きました。

夏も本番、アウトドアや農作業など屋外での活動が多いと思いますが、くれぐれも熱中症には気をつけてください。暑さには悩まされますが太陽のように明るくひまわりには元気をもらえます。暑い夏が過ぎれば収穫の秋。そして今年もあつという間です。皆さま夏バテしないようお過ごしください。

(大竹 浩治)

議会広報 常任委員会

委員長

山名田 久美子

副委員長

大竹 浩治

委員

星 渡 和 志 哲

星 渡 部